



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年8月16日

上場会社名 株式会社ジモティー 上場取引所 東
 コード番号 7082 URL https://jmt.y.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 貴博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 岩崎 優一 TEL 03-6303-9258
 四半期報告書提出予定日 2021年8月16日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の業績 (2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	802	14.9	292	76.9	286	73.8	241	74.9
2020年12月期第2四半期	698	—	165	—	164	—	138	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	42.18	41.64
2020年12月期第2四半期	25.66	24.20

(注) 当社は、2020年12月期第1四半期累計期間より四半期財務諸表を作成しているため、2020年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	1,318	848	64.3
2020年12月期	1,722	1,397	81.1

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 847百万円 2020年12月期 1,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,467	6.7	335	9.0	334	8.9	279	9.9	48.03

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	5,996,365株	2020年12月期	5,996,365株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	581,391株	2020年12月期	170,091株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	5,728,628株	2020年12月期2Q	5,383,509株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会及び決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2021年8月16日（月）に機関投資家・証券アナリスト向け説明会を開催する予定であります。当日使用します決算補足説明資料は、説明会開催後当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響の長期化を背景に、依然として厳しい状況が続いており、企業収益に与える影響については、先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境のなかで、当社はクラシファイドサイト「ジモティー」を通して、地域の情報が幅広く集まるプラットフォームを提供することで、地域の情報を可視化し、地域の人とのマッチングを推進してまいりました。新型コロナウイルス感染症による生活動態の変化により地域内情報の必要性が増大し、当社サービスをご利用いただく機会は増加している一方、経済活動の停滞は継続しており、緩やかに回復傾向にはあるもののまだ十分な水準までは改善しておらず、今後の先行きも不透明な状況であります。

当社では、持続的なプラットフォームの成長のために、地域内で互いに必要なモノを融通しあえる場所へと進化するべくサービスの改善に努めてまいりました。具体的には、流れる商材・情報量を増やす取り組みとして、行政や法人との提携を加速し、流れの阻害要因を防ぐ取り組みとして、ネット決済機能や配送代行サービスなど付加機能の提供を昨年より開始し、当第2四半期累計期間においても引き続き改善と検証を重ねてまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は802,478千円（前年同期比14.9%増）、営業利益は292,690千円（同76.9%増）、経常利益は286,162千円（同73.8%増）、四半期純利益は241,622千円（同74.9%増）となりました。

なお、当社はクラシファイドサイト運営事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は1,220,127千円となり、前事業年度末に比べ403,509千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が363,417千円減少、売掛金が24,178千円減少、前渡金が6,214千円減少、前払費用が12,873千円減少したことによるものであります。固定資産は98,564千円となり、前事業年度末に比べ546千円減少いたしました。これは、有形固定資産が546千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,318,692千円となり、前事業年度末に比べ404,055千円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は243,806千円となり、前事業年度末に比べ75,041千円減少いたしました。これは主に、買掛金が6,268千円増加、1年内返済予定の長期借入金が60,000千円増加した一方で、未払金が152,298千円減少したことによるものであります。固定負債は226,241千円となり、前事業年度末に比べ220,000千円増加いたしました。これは、長期借入金が220,000千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は470,048千円となり、前事業年度末に比べ144,958千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は848,644千円となり、前事業年度末に比べ549,014千円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が1,299,423千円増加した一方で、資本剰余金が1,057,711千円減少、自己株式が791,145千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は64.3%（前事業年度末は81.1%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ363,417千円減少し、当第2四半期会計期間末には1,035,952千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は154,846千円（前年同期は124,529千円の獲得）となりました。これは主に、税引前四半期純利益286,162千円の計上、売上債権の減少額24,178千円、仕入債務の増加額6,268千円、未払金の減少額152,298千円、法人税等の支払額32,038千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,428千円（前年同期は13,856千円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出1,428千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は516,835千円(前年同期は211,130千円の獲得)となりました。これは主に、長期借入れによる収入300,000千円、長期借入金の返済による支出20,000千円、自己株式の取得による支出802,985千円、自己株式の処分による収入8,640千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点で、2021年2月15日の「2020年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

また、新型コロナウイルス感染症が及ぼす当社への影響についても2021年2月15日に公表いたしました「2020年12月期 決算短信」に記載の前提条件に変更はなく、売上高については、新型コロナウイルス感染症の影響により、広告需要の低調なトレンドが継続する前提の計画となっております。また、費用については、引き続き費用対効果の観点から広告宣伝費の配分を臨機応変に見直してまいります。

なお、当業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後業績予想を修正する必要がある場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,399,370	1,035,952
売掛金	188,770	164,592
前渡金	12,141	5,926
前払費用	17,995	5,122
その他	5,359	8,534
流動資産合計	1,623,636	1,220,127
固定資産		
有形固定資産	8,982	8,435
投資その他の資産	90,129	90,129
固定資産合計	99,111	98,564
資産合計	1,722,748	1,318,692
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,988	17,256
1年内返済予定の長期借入金	—	60,000
未払金	160,451	8,153
未払費用	45,596	42,533
未払法人税等	47,976	57,353
前受金	25,758	28,425
その他	28,076	30,083
流動負債合計	318,848	243,806
固定負債		
長期借入金	—	220,000
資産除去債務	6,241	6,241
固定負債合計	6,241	226,241
負債合計	325,089	470,048
純資産の部		
株主資本		
資本金	308,657	308,657
資本剰余金	2,227,989	1,170,277
利益剰余金	△1,057,801	241,622
自己株式	△81,706	△872,852
株主資本合計	1,397,138	847,704
新株予約権	520	939
純資産合計	1,397,658	848,644
負債純資産合計	1,722,748	1,318,692

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	698,476	802,478
売上原価	68,592	92,992
売上総利益	629,884	709,486
販売費及び一般管理費	464,421	416,796
営業利益	165,462	292,690
営業外収益		
受取利息	3	6
新株予約権戻入益	10	—
雑収入	65	369
営業外収益合計	78	376
営業外費用		
支払利息	—	705
支払手数料	—	6,199
上場関連費用	872	—
営業外費用合計	872	6,904
経常利益	164,668	286,162
税引前四半期純利益	164,668	286,162
法人税等	26,520	44,539
四半期純利益	138,148	241,622

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	164,668	286,162
減価償却費	1,357	1,975
受取利息	△3	△6
新株予約権戻入益	△10	—
支払利息	—	705
支払手数料	—	6,199
上場関連費用	872	—
売上債権の増減額 (△は増加)	24,023	24,178
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,186	6,268
未払金の増減額 (△は減少)	△81,947	△152,298
その他の資産の増減額 (△は増加)	24,938	15,912
その他の負債の増減額 (△は減少)	△1,891	△1,513
小計	139,194	187,582
利息の受取額	3	6
利息の支払額	—	△705
法人税等の支払額	△14,667	△32,038
営業活動によるキャッシュ・フロー	124,529	154,846
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,856	△1,428
投資有価証券の取得による支出	△12,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,856	△1,428
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	—	△20,000
自己株式の取得による支出	—	△802,985
自己株式の処分による収入	222,792	8,640
新株予約権の発行による収入	—	509
上場関連費用の支出	△11,661	—
その他	—	△3,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	211,130	△516,835
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	321,803	△363,417
現金及び現金同等物の期首残高	643,850	1,399,370
現金及び現金同等物の四半期末残高	965,654	1,035,952

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年3月26日開催の第10回定時株主総会において、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を676,087千円減少させ、同額をその他資本剰余金に振り替えております。また、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を1,057,801千円減少させ、同額を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。また、当社は、2021年5月14日開催の取締役会決議に基づき、2021年5月17日に東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により、普通株式429,300株を取得いたしました。この結果、当第2四半期累計期間における新株予約権の行使による自己株式の処分を含めて、当第2四半期会計期間末において資本剰余金が1,170,277千円、利益剰余金が241,622千円、自己株式が872,852千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

当社は、クラシファイドサイト運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

当社は、クラシファイドサイト運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。